

2017年度国際版画美術館事業報告書【コンサート版】

プログラム名	企画展「紙の上のいきものたち！！」関連イベント 2017年度第2回プロムナード・コンサート				
演奏者 (敬称略)	第1部: 玉川大学芸術学部学生3名 石塚万央・池谷卓哉・齋藤桃子(ピアノ) 第2部: 桜美林大学芸術文化学群学生3名 小林咲恵・米田彩子(ピアノ)、傳川諭(サクソ)	担当者名	普及係 内海 直顕		
開催日・時間	2017年9月9日土曜日 1回目13:00～ 2回目15:00～(各回30分程度)	場所	エントランスホール		
周知方法	広報まちだの企画展案内記事に、関連イベントとして掲載(7月15日号) エントランスホールにてポスター掲示(企画展初日7月29日～コンサート当日) 国際版画美術館HPのイベント欄に掲出(7月15日～) 展覧会チラシのイベント欄に掲載(6月30日配布開始)				
参加方法	エントランスホールへ直接来場・事前申込なし		参加者対象	展覧会鑑賞者、音楽に興味のある方、その他来館者	
参加者数	実績	収容人数	市民率		
	153人 (1部:70人 / 2部:83人)	—	—		
事業概要	<p>展示作品を鑑賞しながら、音楽を楽しんでもらうことを目的にしているプロムナード・コンサートは2012年度から実施している。</p> <p>地域にとってより親しみのもてる美術館・より開かれた美術館をめざすため、年数回のうち1回は、市内音楽系大学学生によるコンサートとしている。</p> <p>演奏は、各回とも30分程度。第1部13時からは玉川大学芸術学部学生3名によるピアノ演奏。第2部15時からは桜美林大学芸術文化学群学生3名によるピアノとサクソの演奏とした。</p>				
ねらい・対象	実技指導	展覧会関連	学校連携	友の会連携	その他
	<p>展覧会鑑賞者に、作品と音楽をともに楽しめる環境を提供し、展示作品への理解を深めることを目指す。来館した方が誰でも気軽に楽しめるコンサートを実施することで、開かれた美術館の実現を図る。</p> <p>また、学生にとっては、演奏する機会が増え、教育・研究活動の充実につながり、美術館にとっては大学が持つ知的財産を活用できるという、大学連携の1つとなっている。</p>				
主な収入	なし。(入場無料)			その他特定財源	
				0円	
事業経費	<p>●謝礼 20,000円 国際版画美術館イベント事業 > 報償費 > 展覧会協力謝礼20,000円 ※20,000円分の図書カード(内訳:1,000円の図書カード10枚×2枚)</p> <p>●イベント材料費 1,088円 <内訳>①プログラム印刷用紙(黄色上質紙) : 186円(200部印刷、1枚あたり約0.93円) ②クリップ付鉛筆50本×2 : 451円×2=902円(アンケート記入用)</p> <p>●ピアノ保守点検費 59,400円 ※2017年度は、ピアノの保守点検と調律をそれぞれ1回ずつ実施する予定。 保守点検は、2017年7月3日に実施済。調律は2018年3月12日の予定。</p> <p style="text-align: right;">合計:約81千円</p>				
アンケート結果	回収数	回収率	回答した市民率 ※	回答した市外者率 ※ (未記入含む)	満足度
	72 件	47 %	63 %	38 %	76 %
	主なご意見	別紙のとおり。			

※印は、四捨五入により、市民率と市外者率の合計は100%にならない。

反省点と改善方法	演者選定	<p>大学連携の機会を増やすために、複数校の出演を企画した。</p> <p>第1部と第2部で出演大学を変えることにより、参加者にとっても、大学ごとの個性が感じられ、聴く楽しみが増えることになる。よって、2016年度に続いて「玉川大学」と「桜美林大学」の2つの大学を選定し、出演を依頼した。</p>
	出演交渉	<p>2016年度は、桜美林大学の出演が見送りとなった経緯があるため、2017年度は半月早めた5月中旬から両大学との連絡・調整を開始した。出演者決定の連絡は、桜美林大学は7月中旬、玉川大学は8月上旬という、コンサート約1ヶ月前の時期であった。</p> <p>この時期の連絡の場合、コンサート準備期間が短くなってしまふ。そこで2018年度も両大学に出演して欲しい旨を、コンサート当日までにあらかじめ伝えることとした。また、余裕をもった準備ができるよう、事務作業の順番を変更するなどの工夫が必要である。</p>
	広報	<p>アンケートでは、約半数が、来館してコンサートがあることを知ったと答えている。「広報まちだ」、「国際版画美術館ホームページ」、「展覧会チラシ」による広報は行っているが、十分な周知ができていないと言えない。また、「集客に力を入れては」という意見もあった。</p> <p>出演者決定連絡を早めることで、夏休み前に各大学の在學生に広報することが、2016年度の同コンサートの改善方法として挙げられていた。しかしながら、今年度も夏休み入り前後での出演者決定の連絡であったことから、各大学の在學生への広報を行うことは難しいと思われる。</p> <p>次年度は、市民ホールやボプリホールなど、音楽に興味がある人が目にする場所にチラシを置くことを検討する必要がある。また、両大学近くの、忠生市民センターと玉川学園文化センターにチラシを置く方法もあると考えられる。</p>
	会場設営	<p>展示作品を見ながら、音楽を楽しんでもらう趣旨であるため、イスは用意せず、お客様が多く座れる階段下の箇所にはマットを敷いている。</p> <p>それでも、椅子が欲しいとの意見があることから、壁際にある長椅子を1つ増やし、座れる人を多くするように工夫した。</p>
	実施時期	<p>今回のプロムナード・コンサートは、演奏者が市内大学の学生であったことから、近くで音楽を学んでいる年齢の近い先輩の姿を見られるという、子どもたちにとって音楽をより身近に感じられる機会になったと考えられる。</p> <p>このことから、子供向けの企画展が開催されている時期の実施は、適切だったと考える。</p>
	楽器選定	<p>桜美林大学から管楽器(サクソ)の演奏を提案されたが、展示室に音が響きすぎるのではないかという不安があった。実際には、サクソ演奏に対して好意的な意見が多かった。</p> <p>来年度の楽器選定の参考としたい。</p>
	当日進行	<p>プロムナード・コンサートでは、4名のまちだサポーターズに協力をいただき、開演中は「プログラム・アンケート用紙の配布」「観覧者の誘導」を、開演の前後では「階段下のマットの設置および撤去」「ピアノの監視」「アンケート用紙の回収」をしていただいている。</p> <p>今回、まちだサポーターズより、「4名は多い」という意見があった。しかし、当日の体調不良等で、人数が減る可能性がある。また、チラシの配布が実現し、参加者数が増加すれば、まちだサポーターズに協力いただく場面が増える可能性がある。このことから、今後も4名での体制を維持する必要があると考える。</p>
その他特記事項	<p>学生コンサートの定着化</p> <p>今回出演いただいた両校は、2018年度も出演いただける見込みとなっているため、学生によるプロムナード・コンサートの定着化は図れていると考えられる。</p> <p>一方、観客数(2016年度 164人・2017年度 153人)が減ってしまうと、大学連携の意義も薄れてしまうことになる。このことから、広報を充実し、集客に力を入れる必要がある。</p>	

**コンサートの様子
第1部(13:00~13:30)**



石塚万央さん(玉川大学)による演奏風景



池谷卓哉さん(玉川大学)による演奏風景



齋藤桃子さん(玉川大学)による演奏風景



演奏後の挨拶(玉川大学)

第2部(15:00~15:30)



小林咲恵さん・米田彩子さんによる演奏風景(桜美林大学)



傳川論さん(サックス)・小林咲恵さん(ピアノ)による演奏風景(桜美林大学)



小林咲江さん(ピアノ)・米田彩子さん(ピアノ)・傳川論(サックス)による演奏風景(桜美林大学)



演奏後の挨拶(桜美林大学)

◆◆ プロムナード・コンサート アンケート集計 ◆◆

演奏者：玉川大学芸術学部学生3名
池谷 卓哉・齋藤 桃子・石塚 万央（ピアノ）

開催日：2017年9月9日 13時～ / 鑑賞者数：70名 / 回答数：28名

1. このコンサートを何でお知りになりましたか？（複数回答可）

①当館のホームページ 3 ②広報まちだ 9 ③当館企画展のチラシ 2 ④来館して知った 13 ⑤出演者・関係者から聞いて 1 無回答 2

⑥その他 0

2. このコンサートはいかがでしたか？【出演者、プログラム、演奏について】

①とてもよかった 8 ②よかった 14 ③ふつう 3 ④あまりよくなかった 0 ⑤よくなかった 0 無回答 3

3. 会場の環境、雰囲気はいかがでしたか？

①とてもよかった 8 ②よかった 13 ③ふつう 4 ④あまりよくなかった 0 ⑤よくなかった 0 無回答 3

4. 今後、版画美術館で聴いてみたいジャンルはありますか？（複数回答可）

①クラシック 17 ②ジャズ 13 ③その他 2 無回答 2

※ ③その他：雅楽、日本の名曲・古典など、カンツォーネ

5. お客様ご自身についておきかせください。

【性別】

①男性 10 ②女性 17 無回答 1

【年齢】

①10歳代 0 ②20歳代 0 ③30歳代 2 ④40歳代 3 ⑤50歳代 3

⑥60歳代 12 ⑦70歳代 7 ⑧80歳代以上 1 ⑨その他 0 無回答 0

【お住まい】

①町田市内 20 ②その他 5 無回答 3

《②その他の内訳》

相模原市(1)、稲城市(2)、渋谷区(1)

感想・意見

【開催回数について】

定期的に、コンサートを開催して頂きたいです。
学生さんたちの発表の場として、もっと活用してもいいのでは。

【曲数・演奏時間について】

もう少し、2～3曲多く聞けたらもっとよかった。

【コンサート全般について】

とても素敵でした。これっぽちの人数で聞くにはもったいない気がしました。
美術館内でのコンサート、目と耳とを楽しませてもらえました。
素晴らしかった、とてもよかった(3)

◆◆ プロムナード・コンサート アンケート集計 ◆◆

演奏者：桜美林大学芸術文化学群学生3名
 小林 咲恵・米田 彩子（ピアノ） / 傳川 諭（サクソ）

開催日：2017年9月9日 15時～ / 鑑賞者数：83名 / 回答数：44名

※2部の時間帯に回収しているため、部分的に1部の意見も含まれている。

1. このコンサートを何でお知りになりましたか？（複数回答可）

①当館のホームページ 8 ②広報まちだ 6 ③当館企画展のチラシ 6 ④来館して知った 21 ⑤出演者・関係者から聞いて 1 無回答 0

⑥その他 5 絵画展をみにきて知った(1)、先ほどお会いしたお姉さんから(1)

2. このコンサートはいかがでしたか？【出演者、プログラム、演奏について】

①とてもよかった 14 ②よかった 19 ③ふつう 6 ④あまりよくなかった 0 ⑤よくなかった 0 無回答 5

3. 会場の環境、雰囲気はいかがでしたか？

①とてもよかった 13 ②よかった 17 ③ふつう 8 ④あまりよくなかった 0 ⑤よくなかった 0 無回答 6

4. 今後、版画美術館で聴いてみたいジャンルはありますか？（複数回答可）

①クラシック 27 ②ジャズ 22 ③その他 10 三味線とか・和太鼓とかお琴、尺八等の日本の伝統音楽ポピュラー、ディズニーソング(2)、アカペラ、弦楽四重奏、ラテン、シャンソン、アルゼンチンタンゴ 無回答 2

5. お客様ご自身についておきかせください。

【性別】

①男性 16 ②女性 27 無回答 1

【年齢】

①10歳代 1 ②20歳代 2 ③30歳代 5 ④40歳代 3 ⑤50歳代 13
 ⑥60歳代 6 ⑦70歳代 12 ⑧80歳代以上 1 ⑨その他 0 無回答 1

【お住まい】

①町田市内 25 ②その他 16 無回答 3

《②その他の内訳》

相模原市(4)、横浜市(7)、川崎市(2)、藤沢市(1)、江東区(2)

感想・意見

【開催回数について】

開催頻度をもう少し増やしても良いのでは？(3)

また町田の音学生の演奏をやったらいいなと思います。また来ます！！(2)

【会場について】

立ち見かと思ったら座れるところを用意していただき、ゆっくり生演奏を聴けて大変よかったです。椅子がもっとあればよい。

【広報について】

集客にもう少し力を入れたらいいですね。もったいないです。

【ジャンル・楽器の種類について】

今後、もっと金管や木管のプロムナードコンサートが聞きたいです。

ヴァイオリン演奏をしてもらえばGOOD

音楽ジャンルもクラシックに限らず、和楽なども入れて欲しい。

【よかった曲】

ラデツキー行進曲:元気になる曲でGOOD

三重奏テナーサクソ(白鳥・アメージンググレイス)よかった。

1部はクラシック好き向けなプログラムだと感じました。やはりプロの演奏とは差が大きいと思います。

2部は子どもでも知っていそうなプログラムで、展示とリンクした動物の曲があって、企画展のことも考えてくんだのかなと感じました。サクソの音色が雰囲気が変わってよかったです。

サクソのお兄さんは、なかなかうまいですね！